

議会だより



9月の
定例会

② 令和5年度決算

総額236億円の成果を認定!

⑨ ズバリ!! 町政を問う

2議員が質問

⑥ こんなことが決まりました

9月定例会

⑬ 日頃の思いを言葉に

~自治会との意見交換会を開催~



富岡町議会の
ホームページはこちら

とみおか復興ロードレース大会

令和5年度
決算

総額236億円の成果を認定!

【一般会計 189億円、特別会計47億円 合計236億円】



【引き続き、適切かつ柔軟な事務処理の継続を】

坂本代表監査委員の審査意見

令和5年度決算は、約236億円の決算規模となっているが、総体的には概ね適切に事務処理が行われたものと判断する。予算編成にあたっては、明確な事業計画に基づく精密な予算見積もりによる予算計上、情勢の変化にともなう更正や追加を適宜行い、安易かつ過大な予算要求は厳に慎むとともに、予算主義の原則を厳守し、適切な予算要求を行い、予算執行にあたっては、前例踏襲とすることなく柔軟な創意工夫により、地方自治法の趣旨である最小の経費で最大の効果をあげるよう努めていただきたい。



令和6年9月定例会は9月17日から19日まで3日間の会期で開催し、18日に繰り上げ閉会となりました。人事案件や令和5年度決算認定、令和6年度補正予算など、20件の議案を慎重に審議し、全て可決しました。

一般質問では2議員が登壇し、今後直面する課題や町政運営のあり方について伺いました。

【放課後児童クラブ事業】



R6.4月開所

放課後児童クラブ費(工事費 他) 4億566万円
全体事業費(概算) 4億3,836万円中の令和5年度支出分

【防火防犯パトロール事業】



防火防犯パトロール事業費
(委託料 他) 2億7,668万円

【野菜(玉ねぎ)集出荷施設整備事業】



R6.6月供用

被災地域農業復興総合支援事業(工事費 他)11億5,277万円
全体事業費(概算) 24億4,133万円中の令和5年度支出分

【移住・定住促進事業】



移住・定住促進事業費
(委託料 他) 1億4,055万円

【体育施設管理事業】



R6.4月再開

体育施設管理費
(工事費 他) 5億8,485万円

【道路維持管理事業】



道路維持管理事業費
(委託料 他) 3億3,506万円

【桜まつり・桜保全事業】



桜まつり事業 4,679万円
桜保全事業 1,688万円(委託費 他)

【農業基盤整備促進事業】

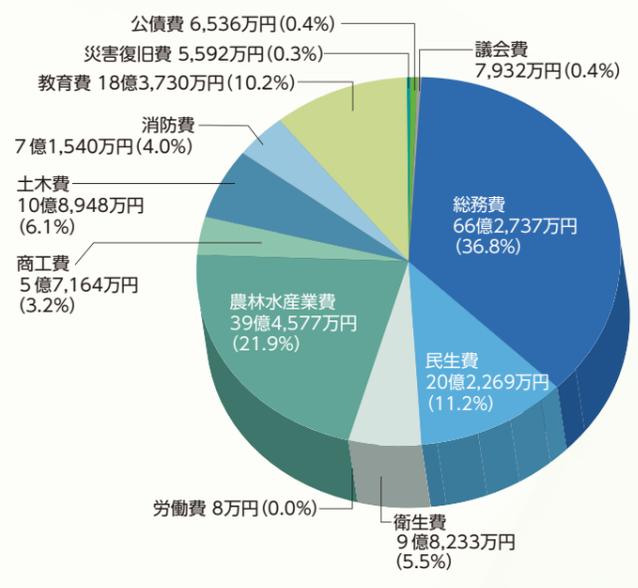


農業基盤整備促進事業費
(工事費 他) 3億6,016万円

歳出(支出)の主なもの

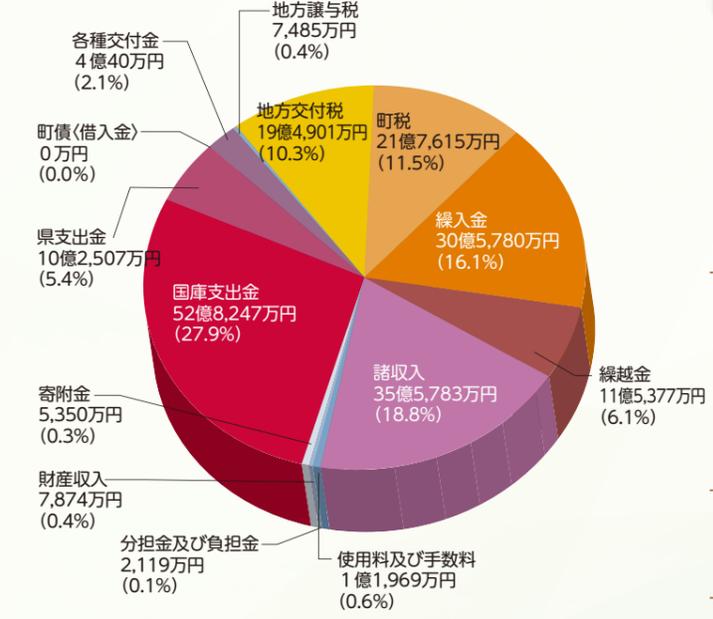
- 総務費 (一般的な管理に要する経費、徴税费や選挙費なども含まれる。)
 - 66億2,737万円
- 民生費 (町民が一定水準の生活と安定した社会生活を送るために必要な経費)
 - 20億2,269万円
 - ・ 社会福祉費 16億3,515万円
 - ・ 児童福祉費 2億2,937万円
 - ・ 災害救助費 1億5,817万円
- 衛生費 (町民が健康で衛生的な生活環境を保持するための経費)
 - 9億8,233万円
 - ・ 保健衛生費 3億4,008万円
 - ・ 清掃費 2億7,238万円
 - ・ 上水道費 3億6,987万円
- 農林水産業費 (農林水産業の振興に要する経費)
 - 39億4,577万円
 - ・ 農業費 35億6,088万円
 - ・ 林業費 3億8,375万円
 - ・ 水産業費 114万円
- 商工費 (商工業の振興に要する経費)
 - 5億7,164万円

歳出(支出) 179億9,266万円



- 土木費 (道路、公営住宅等の建設、維持管理に要する経費)
 - 10億8,948万円
- 消防費 (防犯防火に要する経費)
 - 7億1,540万円
- 教育費 (教育に要する経費)
 - 18億3,730万円
- 公債費 (町の借金返済に要する経費)
 - 6,536万円

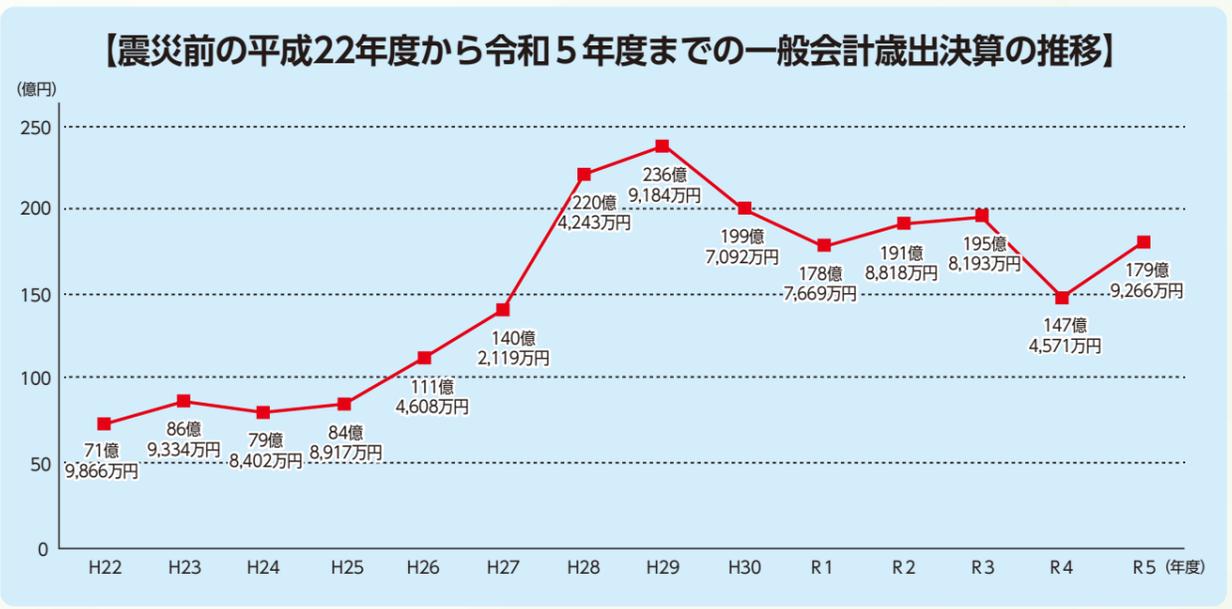
歳入(収入) 189億5,047万円



- 地方譲与税 (国が徴収した自動車重量税などから配分されたお金)
 - 7,485万円
- 各種交付金
 - 4億4,000万円
- 地方交付税 (税収不足を補うために国から配分されたお金。財源は所得税や法人税などの国税の一部)
 - 19億4,901万円

歳入(収入)の主なもの

- 町税 (皆さんが町に納めた税金)
 - 21億7,615万円
 - ・ 町民税 7億8,306万円
 - ・ 固定資産税 12億8,931万円
 - ・ 軽自動車税 2,470万円
 - ・ 町たばこ税 7,908万円
- 繰入金 (収入の不足を補うために、基金(貯金)等から取り崩したお金)
 - 30億5,780万円
 - ・ 特別会計繰入金 1,676万円
 - ・ 基金繰入金 30億4,104万円
- 繰越金 (前年度から繰り越されたお金)
 - 11億5,377万円
- 諸収入 (雑入など、その他の収入)
 - 35億5,783万円
- 使用料及び手数料 (住民票などの手数料収入)
 - 1億1,969万円
- 国庫・県支出金 (特定の目的のために国や県から交付されたお金)
 - 63億754万円
 - ・ 国庫支出金 52億8,247万円
 - ・ 県支出金 10億2,507万円



【令和5年度一般会計及び特別会計決算を全会一致で承認】

会計区分	一般会計	特別会計	国民健康保険事業	公共下水道事業	農業集落排水事業
歳入	189億5,047万円	47億4,830万円	24億908万円	4億2,578万円	1億2,159万円
歳出	179億9,266万円	44億6,680万円	21億8,454万円	3億9,991万円	1億1,734万円
歳入歳出比較	9億5,781万円	2億8,150万円	2億2,454万円	2,587万円	425万円

会計区分	特別会計			合計
	介護保険事業	後期高齢者医療事業	介護サービス事業	
歳入	17億1,845万円	6,369万円	971万円	236億9,877万円
歳出	16億9,326万円	6,267万円	908万円	224億5,946万円
歳入歳出比較	2,519万円	102万円	63万円	12億3,931万円

一般会計 補正予算

事業精査等による減額

《5,799万円を減額補正》

事業精査等による減額計上等により5,799万円の減額補正を行い、総額151億8,217万円となりました。補正のあった主な事業は下表のとおりです。

事業内容(費目名)	補正予算額
基金積立金(7件)	1億6,294万円増
特別会計繰出金(4件)	3,108万円減
新たな経済に向けた給付金(給付金 他)	701万円増
予防接種事業費(委託料 他)	4,718万円増
都市計画事業費(委託料)	1,300万円増
富岡町防火防犯パトロール事業費	3億3,961万円減
図書館事業費(委託料 他)	694万円減
その他	8,951万円増



町内の防犯カメラ

答 産業振興課長
いのしし17頭、その他の小動物が262頭捕獲されています。
問 防犯カメラリース料について、現在町内の防犯カメラの台数は、今後増減の計画は。(高野匠美)

〔歳入歳出決算〕
問 鳥獣被害防止緊急対策事業費について、令和5年度の有害鳥獣捕獲の実績は。(渡辺三男)

答 生活環境課長
現在は道路沿いに46台、上下線で92台です。現場の状況を見ながら、現状を維持したい考えです。

問 総合体育館周辺の体育施設について、合併浄化槽ではなく下水道へ接続する予定は。今後増減の計画は。(渡辺三男)

答 都市整備課長
公共下水道への接続や処理場の建設、既存の下水道管への接続は費用対効果を考えると非常に難しいのが現状です。全体的なバランスを考えて、できることをやっていきます。

問 防火防犯パトロール事業の減額内容は。(安藤正純)

答 生活環境課長
3事業の中での合計額であり、当初額と入札の落札額の請け差です。

人事案件

教育委員会委員に任命

富岡町教育委員会委員の任期満了に伴い、佐藤教宏(さとうゆきひろ)さんを任命しました。

任期は、令和6年10月1日から4年間で、

(9月定例会 全会一致 原案可決)



佐藤 教宏さん

固定資産評価審査委員会委員に再任

富岡町固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、大畑孝(おおはたたくし)さんが再任されました。

任期は、令和6年10月1日から3年間で、

(9月定例会 全会一致 原案可決)

【佐藤教宏さんのごあいさつ(一部抜粋)】

子どもたちが明るく楽しく過ごせる教育環境をつくり、また、生涯学習を通じて町民の皆さまに生きがいを持っていただき、富岡町に住んでいて良かったと思っただけのよう尽力してまいりたいと思っています。



こんなことが決まりました

令和6年第4回定例会で審議した議案とその結果

上程議案・概要		結果
◆条例の一部改正		
議案第50号	富岡町特定復興産業集積区域における町税の特例に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第51号	富岡町地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第52号	富岡町国民健康保険条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
◆補正予算		
議案第55号	令和6年度富岡町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	全会一致 原案可決
議案第56号	令和6年度富岡町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	全会一致 原案可決
議案第57号	令和6年度富岡町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	全会一致 原案可決
議案第58号	令和6年度富岡町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	全会一致 原案可決
議案第59号	令和6年度富岡町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	全会一致 原案可決
議案第60号	令和6年度富岡町介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)	全会一致 原案可決
◆その他		
議案第53号	福島県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約について	全会一致 原案可決

※第4回定例会における「人事案件」は上記に、「令和5年度決算」「一般会計補正予算(第2号)」は別頁に詳細を掲載しております。また、各議案については富岡町ホームページにおいても報告しておりますので、ご参照ください。

ズバリ!

町政を問う



2議員が質問

9月定例会の一般質問に2議員が登壇し、町の対応や考えなどを問いました。この紙面では、質問した順に質疑応答の要点をお知らせします。

1 渡辺 三男 議員……………10



- 帰還困難区域の土地を行政で管理できないか
- 桜の園への入所基準等について
(特別養護老人ホーム「桜の園」)



2 佐藤 啓憲 議員……………11



- 猛暑による熱中症対策の取組強化を
- 太陽光発電施設の設置に関する町の方針は



山本 育男 町長

岩崎 秀一 教育長

動画配信中!

富岡町公式チャンネル
YouTube



※QRコードを読み取ると各議員の一般質問動画が見られます。

※山本町長の一般町政報告はこちらから

現状を確認!!



野菜集出荷施設、放課後児童クラブを視察

令和6年9月18日、決算認定に伴う現地調査を実施しました。調査実施箇所は、野菜集出荷施設および放課後児童クラブです。議員からは、施設の概要や運用方法、他町の同事業における施策との兼ね合いの懸念、などの質問が出されました。

放課後児童クラブ

- 総工事費
約3億5,417万円
- 施設の概要
【構造】木造平屋建て
【敷地面積】約5,000㎡
【建築面積】646.2㎡
【開所時間】
・通常 放課後から午後6時30分まで
・小学校休業日 午前7時30分から午後6時30分まで



野菜集出荷施設

- 総工事費
約24億4,133万円
- 施設の概要
【構造】鉄骨造一部2階建て
【敷地面積】7,916㎡
【延床面積】5,269㎡
【受益面積】最大80ha
【処理量】4,000t
【施設内容】玉ねぎの乾燥、選別、貯蔵機能

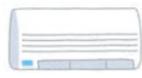




佐藤 啓憲 議員

問 猛暑による熱中症対策の取組強化を

答 高齢者への意識醸成と環境整備に努めます



問 本町において高齢者のみの世帯の増加が顕著であることから、熱中症予防に対する意識醸成のため、防災無線での呼びかけや見守り活動における声掛けなど、各課横断的に取り組んでいきます。

問 消防庁から発表された熱中症による救急搬送の割合は、高齢者が6割となっており、屋内でのリスクが高いとされているが町の取り組みについて伺いたい。

問 熱中症警戒アラートが発表された場合に備え、公共施設や民間施設を利用できる指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)を定める必要があると考えるが町の方針を伺いたい。

問 屋外での作業や炎天下のイベント対応に従事する職員に対し、空調服やクールベストを利用しては。

問 太陽光発電施設の設置に関する町の方針は



施設一覧



「ふくしま涼み処」として登録

問 町は猛暑の際に一時休憩できる施設として、「ふくしま涼み処」に学びの森・町図書館・アーカイブミュージアム等、町内外に計8か所を登録しています。また、これらの施設をクーリングシェルターに指定し利用いただくよう、今後ホームページに掲載していきます。

問 文科省において避難所として利用される既存の体育館については、断熱性の確保と空調設置について国から補助が受けられるため、小中学校の体育館と総合体育館にエアコンを設置しては。

問 町は持続的に発展可能なまちづくり推進のため、再生可能エネルギーの積極的な活用に取り組んでいます。太陽光発電施設の設置に際しては、関係法令や国のガイドラインを遵守し、地域の皆様のご理解のもと、安全や環境、景観に十分配慮して実施されることが重要と考えます。



町内の太陽光発電施設

問 帰還困難区域の土地を行政で管理できないか

答 個人の土地は所有者が管理



渡辺 三男 議員

問 外縁除染が進み令和5年の11月末で一部の道路、墓地、集会所等の避難指示が解除されたが、はや10か月を迎えた現状を見ると除染前の姿に戻りつつある。行政で管理はできないのか。

問 除染や家屋解体後の土地については、一定の放射線量低減が完了したことで再び所有者へ引き渡しが行われ、その管理は従前のおり所有者が行うものであることを、これまでの地元説明会においても説明しています。放射線量が局所的に高い場合には、環境省が山林も含め、確認と必要なフォローアップ除染を行うこととなっています。



昨年11月30日に行われた特定復興再生拠点区域の避難指示解除

問 これまでの解除は道路も民地もすべて一括で解除だったが、今回は点・線拠点のみと異例である。所有者が帰還困難区域に入って自分の土地の除草等を行いきれずに維持しなくてはいけないというのは無理があるのでは。

問 解体しない物件についても除染は行われているが、屋根瓦の下フィルト、セメント瓦、コンクリートについては放射線量が異常に高い数値が見られるので、もう一度調査すべきと考えるが。

問 特別養護老人ホーム「桜の園」の利用状況について。

問 入所の基準については。

答 生活環境課長
あくまでも、個人の土地については土地の所有者に管理をしていただく考えです。また、除草剤配布についても自分でまくことが困難等の声もある中で、様々な手立てを考えていますが解除された沿線の除草等の管理を直接町が行うということは難しいのが現状です。

答 町長
環境省からは、引き渡し後に空間線量が高いとの指摘があれば再調査を行い、実施可能であればフォローアップ除染を行うとの回答もいただいています。町としましては、町民のご意見をお聞きしながら環境省と連携し、町民の放射線量の不安払しょくや低減について引き続き努めます。

答 町長
入所者は令和4年度末には31名となりました。その後、増減を繰り返しながら常時35名前後の入所者が推移していたところです。本年度は33名で始まり、現在は30名となっています。

答 町長
国の省令により、都道府県が定める入所に掛かる指針が示されています。基準表には、本人の心身の状況及び介護者の世帯状況や介護にかかる負担、また、介護サービスの利用状況などの項目があり、それらを数値化したものを参考に、判定会において協議しています。

答 福祉課長
事業者からの提案や町の計画において、順次入所者を増やしていきます。概ね計画通りであり、県からも標準的な範囲で推移しているとの言葉をいただいています。

答 福祉課長
入所希望の方の心身の状況が現在の居場所と安定しているということであれば、かえって施設を移すことによって、心身に不調をきたす恐れもあり、まずは支援を要する方本人の状況等を、様々な角度から見て判断しています。

答 地域住民のご理解のもと積極的に推進

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会が調査した主な事業について報告します。

- 〔所管課〕
- 総務課
- 企画課
- 税務課
- 出納室
- 住民課
- 教育総務課
- 生涯学習課
- 議会事務局



※常任委員会とは①

本会議前に議案などを事前に審査したり、各課の事務の執行状況などを調査する場です。

＜職員が保有する各種資格等について＞

Q 個人の免許や資格等を、総務課では把握しているのか。復興に活かせる資格を持つ職員もいるのではないかと。また、更新等のチェック体制は。

A 資格等については採用時点で資格、免許等の書類や証明書の写しの提出により確認をしており、入庁後に資格、免許等を取得した可能性もあるため、コミュニケーションを密にして把握していきます。

また、毎年4月に、安全運転管理者として行う全職員の運転免許証の確認において、更新が必要な職員を把握し更新を促すとともに、業務上必要な資格、免許に関しても、適宜教育委員会等と連携しながら確認及び更新を促すこととしています。

【総務課】

＜公営住宅の状況は＞

Q 町営住宅は順調に入居者の受け入れを行っているが、新田団地への入居者数が少ない状況。原因は何と考えているか。

A 町営住宅の選択要件のひとつとして、周辺環境の整備状況が挙げられます。今後、夜の森地区の生活環境の整備が進むことにより、入居希望者が増加すると考えます。



令和5年4月より供用の新田団地

【総務課】

＜中央省庁への要望活動について＞

Q 現地視察をしながら要望を伝えることで、より細かく当町の現状を理解してもらえるのでは。

A 要望活動や現地視察において町の現地を見てもらい、当町と他町との帰還困難区域の状況の違い等をはじめとする現状を認識してもらえよう、今後も努めます。

【企画課】

＜富岡駅前のにぎわいづくり＞

Q 富岡駅前にぎわいづくり検討委員会において予算を計上しているが、進捗は。

A 富岡駅前をどのように活用できるか、先進地の視察を行いました。また、官民合同チームの協力をいただき、事例の報告を受けて課内で検討を重ねながら、たたき台を作っており、今年度中に検討委員会を再開する予定です。



【企画課】

＜心の復興補助金について＞

Q 補助金の決定基準と上限は。また、申請に際して年数等の上限はあるのか。

A 募集期間内に提出された事業計画について、本補助金交付要綱等との整合性及び経費積算の正確性を確認し、審査を経て交付の可否を決定します。1会計年度中における1団体に対する補助上限額は350万円で、交付要綱に定められた期日までに事業の実績を報告しなければなりません。交付回数に定めはありませんが、第二期復興・創生期間以降における本補助金の在り方については令和7年度中に国から示される方針等を考慮し検討することとなります。

【住民課】

＜旧富岡第二小学校体育館について＞

Q これまで放課後児童クラブとして使用していた旧富岡第二小学校の体育館の今後の利用計画は。

A 現在は、療育サービスに週2回貸し出しを行っています。今後は教育委員会が窓口となって広く町民へ開放できるよう貸し出しを行います。



旧富岡第二小学校体育館

【教育総務課】

産業厚生常任委員会

産業厚生常任委員会が調査した主な事業について報告します。

- 産業振興課
- 都市整備課
- 農業委員会
- 生活環境課
- いわき支所
- 郡山支所
- 福祉課
- 健康づくり課



※常任委員会とは②

全議員が必ずどちらかの常任委員会に所属します。行政視察や事業の現地視察も実施します。

＜町道の除草について＞

Q ツタが道路側にはみ出して繁茂している。また、除草作業の発注後に速やかに着手できるように、優先順位を示す等の配慮を。

A 町道のツタについては把握しており、順次対応を検討しています。除草業務に関して、次年度以降は交差点等の優先順位を示します。



【都市整備課】

＜ファミリーサポート事業について＞

Q 事業再開に伴う講習会の実施方法とフォローアップについては。

A 初年度の講習会は委託を想定しています。また、講習後も定期的なフォローアップ講習を検討しています。

【健康づくり課】

＜夜の森公園の維持管理は＞

Q トイレの清掃や、園内の除草・芝の管理の頻度は。

A トイレの清掃は週に1回実施しています。除草については年2回で委託していますが、伸びが早ければそれ以外に職員で対応しています。



夜の森公園

【都市整備課】

＜町内医療機関の確保を＞

Q 町内の医療機関が1箇所休診となることを受け、小児科誘致に対する町の考えは。

A まずはとみおか診療所を受診のうえ、専門科の受診につなげたい考えです。小児科に関わらず、必要な診療科について国民健康保険におけるレセプト(1か月の診療内容をまとめた診療報酬明細書)の分析等も踏まえ対策していきます。



【健康づくり課】

＜消防施設の更新内容について＞

Q 6月に行われた町内消防施設の一斉点検の際に、消火栓の看板が壊れている箇所が見受けられたが、更新は。

A 消火栓の看板の腐食等は把握しております。今後も消防団による守り隊のパトロールの中で確認し、適宜更新していきます。



今後更新されていく消火栓の看板

【生活環境課】

＜補助金額の増額を＞

Q GPS活用のスマート農業に対する補助金の上限額が低い。利用者の要望も踏まえて検討を。

A 補助金の上限額が低いことは県にも申し入れをしています。農業者の意見を伺いながら、引き続き県への要望を続けます。

【産業振興課】

町の重点事業について 徹底議論!!

◆除染・解体工事及び特定廃棄物埋立処分事業の状況について

(環境省・生活環境課)

問 本年2月16日に、特定帰還居住区域復興再生計画の認定を受け、解体申請の受付や除染同意の取得が始まったが、実際に除染作業に着手したのは9月である。時間を要した原因は。

答 環境省 (渡辺正道)
除染作業の着手には、工事受注後に受注者が適切な施工体制を構築すること、及び対象箇所の除染同意取得が必要で、富岡町の工事着手が遅れた原因としては、入札手続期間中にゴールデンウィークを挟んだことから入札手続に時間が掛かってしまったこと、契約後にお盆を挟んだことから受注者の施工体制の構築に時間が掛かってしまったこと、及び同意取得に時間を要したことなどが挙げられます。

迅速に除染や解体が進められ、全体のスケジュールが遅れないよう施工管理に努めます。



石膏ボード処理機(写真提供：環境省)

問 家屋解体によって発生する石膏ボードについて、破砕選別後の石膏粉はかなり細かくなっているが、粉塵等が大気中に舞わないよう、ダストの処理ができる設備はあるのか。

答 環境省 (佐藤啓憲)
石膏ボードの破砕は、深谷国有林仮置場に設置した専用の施設に破砕機を設置して実施しており、施設内において粉塵等の回収をしているため、これが大気中に飛散することはありません。

問 今後の輸送ルートについて、現在提示されているルートについての見直しと、輸送に使用する車両の精査を。(高橋実)

答 環境省
輸送ルートについては柔軟に検討していく考えです。使用する車両については、本方針を議会でお認めいただければ、受注者と具体策を詰めていきたいと考えています。

問 除染完了後も放射線量についての現地調査を行い、フォロアアップ除染で対応していくとあるが、水路であつたり降雨による拡散も懸念されるので、広い範囲でフォロアアップ除染をしてもらいたい。(宇佐神幸)

答 環境省
全体的な放射線量の状況を確認しながら対応していきます。



議会による現地視察の際の測定

問 量について、夜の森地区が帰還困難区域だった際と、小良ヶ浜・深谷地区の帰還困難区域では放射線量の高さが全く違う。除染・解体の後の事後モニタリングによって放射線量が高い場合はフォロアアップ除染で対応するとあるが、本格除染・解体の際にしっかりと放射線量を下げることが必要だと考えるが。(渡辺三男)

答 環境省
始めに行う除染において、できる限り放射線量の低減を図り、事後モニタリングで比較的放射線量が高い箇所があればフォロアアップ除染で対応していきます。

日頃の思いを言葉に ～自治会との意見交換会を開催～

県内に避難されている自治会の皆さまと意見交換会を開催し、長引く避難生活の中で感じている不安や富岡町の復旧・復興に対するこれからの取り組みなど、多くのご質問、ご意見をいただきました。

議会として、皆さまからいただいた貴重なご意見等を真摯に受け止め、精査し、今後の町政に反映できるよう提言していきます。

令和6年7月3日 福島市及び県北地区在住富岡町民自治会
令和6年9月26日 郡山方部居住者会

皆さんからの
質問・意見
Pick Up!

- ・ 町内の買い物施設の充実を
- ・ 除染、家屋解体の制度に関する疑問
- ・ 医療費及び高速道路の無料化延長を希望
- ・ 今後の町づくり計画について
- ・ サロン設置に対する町の考えは
- ・ 富岡町に保有する土地の管理について
- ・ 町の土地利用計画や、今後の町内の商業について



郡山方部居住者会



福島市及び県北地区在住富岡町民自治会

現地視察レポート ～福島第一原子力発電所～



令和6年9月24日に原子力発電所等に関する特別委員会において東京電力福島第一原子力発電所の現地視察を実施しました。

【視察場所】

・福島第一原子力発電所 構内

1～4号機及び5～6号機建屋、多核種除去設備、海側設備、乾式キャスク仮保管設備等の説明を受けながら視察しました。



1号機建屋



2号機建屋



既設ALPS



ALPS処理水移送配管



3号機建屋



4号機建屋



5・6号機建屋



陸側遮水壁

写真提供：東京電力ホールディングス(株)

トラブルについて、原因等を質疑後に確認することが

答 東京電力
一般の方、自治体の方、専門家の方、海外の方と様々視察に来られていますが、それぞれの見方、ご意見が異なります。メディアを通してだけではなく、実際に現場情報を持ち帰っていただくという方法が一方通行にならないよう、様々なご意見をいただくことを継続的に行ってまいります。

問 視察者の意見をどのようにとらえているか。
(宇佐神幸二)

答 東京電力
7月時点のデータで、平均1日あたり約4,500人が現場に入っており、協力企業棟において事務処理されている方も含めると約5,500人ほどが構内で働いています。

問 作業に従事する東京電力職員及び関連企業の1日当たりの職員数は。
(渡辺正道)

議員が切り込む!!
質疑応答



見受けられる。東京電力が事業主体であることの意識を強く持つてもらいたい。本当に廃炉まで30年、40年で対応ができるのか。
(安藤止純)

答 東京電力
年数はひとつの目標として、廃炉を進めていくことが重要であると思っています。まずは10年先を見据え、しっかりと作業を組み上げていき、徐々に計画の精度を上げていきます。

答 東京電力
対応を進めていく上で、最終的な議論・判断をする材料をひとつひとつ集めることが必要になります。東京電力が事業主体として全体を把握することに繋がります。

「処理水ポータルサイト」もぜひ見て欲しいっ!



【疑問を受け付けられる体制を】



安藤正純議員

海域モニタリングは東京電力や環境省等の各機関で行っているが、計器の精度に違いはあるのか。測定結果等はネット掲載で周知されるが、一方的に公開するだけではなく、疑問を持った人に答えられるような双方向の体制が必要と考えるが。

測定機関は4箇所あり、測定精度のレベルはすべて同じです。双方向の体制については現在ネットや電話で質問を受ける体制を作っていますが、現状まだ不十分であるので、今後も機会を通じて意見をいただければと思います。



東京電力HD(株)

【トラブルの改善点は】



東京電力HD(株)

燃料デブリ取り出しの際のトラブルでは接続する部品の順番が違っていたが、作業のための目印は誰が見ても分かるようにすべきでは。

部品のパイプには手書きの記載はありましたが、養生で隠れてしまったり、マスクやヘルメット等の状況で見えづらくなってしまったという点がありました。反省点を踏まえ、養生テープで色を付ける等見えやすくして間違えないようにすることに加え、操作室からのカメラでも番号が確認しやすいようにしています。



高野匠美議員

【内部調査の想定は】



渡辺正道議員

3号機の原子炉格納容器(PCV)の内部調査には小型のマイクロドローンを用いるとのことだが、どのように飛ばしているのか。

3号機PCV内へのアクセスルートは直径が約14センチと非常に狭いため、PCV内部まで運んでから飛ばして調査する予定です。どのようなドローンを使用するかは、検討中であり、別のアクセスルートの構築についても検討しています。

今回の燃料デブリ取り出しに関する人為的なミスが積み重ねることによる社会的影響について、東京電力はどう考えているか。

非常に危機感を持っています。燃料デブリの取り出しは先が長い取り組みであり、今回はその第一歩でした。このようなことが積み重なり、廃炉の進捗に支障となることはあってはならないことだと思っています。教訓をしっかりと活かすことで、損なった信頼を取り戻し、安全に着実に廃炉を進めていきます。



東京電力HD(株)

町が滝川ダム管理へ！

これまで福島県が管理していた滝川ダムについて、町内の営農再開が進んできた状況を踏まえて施設の管理が令和6年度から下記のとおり町へ委託されました。

管理受託者：富岡町 / 操作受託者：富岡町土地改良区



定期的な湖面巡視や施設の点検



職員による環境整備



遠隔で状況の確認が可能



さくら富岡
みずの礎

□ 滝川ダム

形式：重力式コンクリートダム
堤高：74m 堤頂長：213m
総貯水量：594万 m^3 (25mプール 約1万杯分)
貯水面積：0.27 km^2 (夜の森公園 約11個分)

□ 幹線用水路

パイプライン：5.8km (管径500~600mm)

写真提供：土地改良区
背景はパンフレットより

議会を傍聴しませんか？

- 12月定例会は、18日(水)～20日(金)の会期で開催する予定です。
- 所定の用紙に、住所(市町村名まで)・氏名・性別・年齢を記入いただくだけで、どなたでも傍聴することができます。
- 審議日程など、詳細については議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局 ☎0240-22-2111(代表)



編集後記

福島市及び県北地区在住富岡町民自治会、郡山方面居住者会と、中通りに避難されてる住民の皆様との意見交換会が行われました。

思い出すのは仮設住宅へ通っていたボランティアの日々です。あの頃、まだ先が見えず、不安だらけの避難生活でした。現在はひとまず落ち着いて暮らすことができ、明るいニュースも増えてきました。しかし皆さんの話を聞いて、その折々のフェーズによって新たな課題が生まれ、町としても議会としてもその都度対応していかなければならないと実感しました。

これからも皆様の声を真摯に受け止め、町政に反映していくために努力してまいります。引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

(平山 勉)

発行責任者

議長 堀本典明

議会広報特別委員会

委員長 佐藤啓憲

副委員長 辺見珠美

委員 平山 勉

委員 高野匠美

FSC® の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙を使用して印刷しています。

